



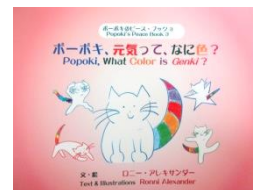
梅がようやく満開になりつつあります。あちらこちらにピンク色の花がいっぱい。ちょうどポーポキの新しい本と同じ色です！

Popoki's Hot News!

ポーポキのピース・ブック3！

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、

『ポーポキ、元気って、なに色?』は発行できました！お近くの本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、神戸 YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。ご注文、およびご感想をお待ちしています。



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのバシールにゃんから届いた平和：

「今朝、私は近所の川沿いを歩いていたら、たくさんの人が家族や友達とバーベキューを楽しんでいるのを見た。彼らはとても幸せそうだった。同時にそこには、何匹かの野良猫がバーベキューを楽しむ人々を、羨ましそうに目で見ている。猫たちは空腹と寒さに震え、幸せそうではなかった。そこで私は彼らにキャットフードを与えると、猫たちは少し幸せになり平和が生まれたように見えた。私もそれを見て少し平和を感じた。動物にとっての平和と人間にとっての平和は同じなのであろうか。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。
ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



ぼくのFB頁ができました!!! ぜひ観てくださいね！

www.facebook.com/pages/Popoki-Peace-Projectポーポキピースプロジェクト/1384738958444817

いつもご協力、ありがとうございます！

『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』(エピック 2012) はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいと思います！

*神戸 YMCA でも販売していますよ！ 本については、
<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。



ポーポキの友達にうれしいことがいっぱい！
就職、卒業、進級、誕生日、引っ越し、出版・・・



大槌町の「シフォンカフェ」のいちごシフォンケーキでお祝い！
とってもおいしかった！

『ポーポキ、元気って、なに色？ ポーポキのピース・ブック3』



写真:はやしにゃん

ポーポキのミニ平和映画祭

2月22日にポーポキ・ピース・プロジェクト・神戸YWCA・神戸YMCAの3者の主催で「第3回ポーポキのミニ平和映画祭」が実施されました。約20名の参加者が熱心に映画を観て、小グループで意見交換をし、最後に全員で振り返りをしました。

今回の大きなテーマは、「戦争の周辺にあるもの；戦争の準備とはどういうこと？」でした。第Ⅰ部では、「空襲」という近現代の戦争の特徴を考えるためにまず、「ピースマシンの

旅～東京・ゲルニカ・重慶 編」(岩波書店 2010)と”Living Along the Fenceline”(グアム編・Gwyn Kirk & Lina Hoshino)を観て、比較的安全な場所から攻撃すること、軍事基地を置くこと、軍事基地に伴う軍事化の問題などについて具体的に考えることができました。次に、「9条を抱きしめて～元米海兵隊員 アレン・ネルソンが語る戦争と平和」(アレン・ネルソン平和プロジェクト 2013)を観て、日本国憲法9条の意味や米海兵隊員としてベトナムで戦ったネルソン氏がいう「本当の戦争」について考えまし

た。その後、ちょっとした気分転換として、「ワン・マン・バンド」(ピクサー)という微笑ましいアニメを観ました。笑いましたが、扱っている内容もやはり「対立」です。最後に、沖縄の高江地区を中心に基地問題を描いている「標的の村」(ダイジェスト版・三上知恵監督)を観ました。米軍基地、ヘリパッド、オスプレなど、知っているつもりで知らない沖縄の人々の苦しみと闘いについて学びました。

それぞれの映画の後、3-4人で感想や意見を交換しました。そして、最後はみんなで輪になってふりかえりをしました。「戦争の色は灰色ですが、今、この部屋の色が明るくなりました。」「このことをどうすれば子どもに伝えるのだろう?」「台所で平和のことを話し合っているのが印象的でした。日常の中に平和問題がはいっているんだね。」「どうしてそこまでしてオスプレを配備しようとするのかな。」「面白かった。来年もしよう」などの感想が述べられました。

写真(右)ろにゃんが辺野古と高江に行くためのポーポキのメッセージをつくる参加者たち



よかったら署名を集めてくださいね。

平成 25 年（ネオ）第 16 号 通行妨害禁止請求上告事件
平成 25 年（ネ受）第 17 号 通行妨害禁止請求上告受理申立事件
上告人（申立人） 伊佐真次
被上告人

最高裁判所 御中

高江ヘリパッド建設反対運動弾圧訴訟の公正判決を求める要請

米軍ヘリパッド建設に反対する沖縄県東村高江住民の運動を「通行妨害」だとして国が伊佐真次さんを訴えている事件の 1 審、2 審の判決は、伊佐さんの主張をことごとく退けるきわめて不当なものです。

この問題の発端は、防衛省沖縄防衛局が住民の反対を無視して一方的に、高江集落をとり囲むようにヘリパッド建設を強行しようとしていることにあります。

この訴訟は、国が、ヘリパッド建設に反対する運動を弾圧する目的で住民を相手に起こしている前代未聞の訴訟（「スラップ訴訟」）です。「通行妨害」とされた伊佐さんの行為は、住民が平穏な生活を守るために、工事を強行する防衛局の職員に対して抗議の意思を表明した非暴力のものであり、これを禁ずる判決は憲法第 21 条が保障する表現の自由に対する重大な侵害です。

高江のヘリパッドは、日米両政府が配備を強行している危険な欠陥機オスプレイの着陸帯として使用されており、住民の不安と懸念はますます増大しています。

私たちは、最高裁が、高江の住民の置かれている実情をふまえ、被告の行動の事実を検証して、上告を受理し、国の不当な訴えを退ける公正な判決を出されるよう求めます。

氏 名	住 所

高江住民運動弾圧訴訟をたたかう伊佐真次さんの最高裁でのたたかいを支援する会

事務局 安保破壊中央実行委員会 〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-11-13
電話 03-3264-4764

<https://docs.google.com/file/d/0BwP1pRAf90URdDJBWTIRSkNScFE/edit>



* ポーポキのインタビュー *

☆大槌町の人たちと出会って☆

何故、東北に行き続けるのか？

さとにゃん

最初は理由もなくただ「行かなきゃ」と思って行き、出来ることをした。今は、多分行きたくて行っているんだと思う。知り合った人たちに会いたい。復興途中の変化を傍観者としてではなく、参加者として見ておきたい。様々な感情が交錯する。ポーポキの活動は、最初から人を引きつけてきた。先ずは子どもが、そして大人も。それは今も同じ。心に鎧がない方が反応が早い。でも、傷つきやすい。鎧があっても傷つけないわけではない。様々な人の心にポーポキは優しく寄り添う。



町の中心部(約30ヘクタール)を2メートルほどかさ上げする。大槌駅、線路があったところに道路。工事のために現在の道路が使えなくなるので・・・。

ろにゃん



最初はやっぱり、行かなきゃ。でも行くのなら、開発を学んだものとして、一回だけじゃ駄目。継続性が大切。だから5つの条件を付けた。
・ポーポキらしいこと； 少ない予算で出来ること； 一方通行ではないこと； 世界が視野に入ること； 継続性があること。

でも、やはり人と人との繋がりが、私たちが東北へと引きつける。何もなくても友だちの所に行こう。

湧水が多い。パイプを入れたら水が出なくなる。



←天然のしゃけは、昨年からもどってきている。展示したマストのすぐ近くの川をのぼっていた。

→塩漬けたサケを干して、全国へ出荷！



ろにゃん & さとにゃん

12月の大槌町マストでの活動中に気づいたことがたくさんある。ここに買い物に来られる方は多く、子どもさんも沢山来ている。津波の後に生まれた子どもさんも多い。それに、ベビーバギーを使っている人がほとんどいない。歩けない子どもさんは抱っこされているが、よちよちでも歩ける子どもさんは、自分のスピードで歩き、親御さんはその後ろや横でペースを合わせている。手を繋いでいることもあるが、止まれば止まる。走れば走る。決して急がせることもなく、子どものスピードで歩いている。私たちのスペースでも、子どもさんが帰ると言うまで一緒にいる。楽しそうにしている子どもたちをゆっくり見ている家族の団らん。津波を知らない子どもさん達に、皆さんの経験を教えますかと聞くと「いずれは教えなければいけないと思うけれど、何時ぐらいに、どのように教えればいいのかは未だ分かりません。」と言われた。



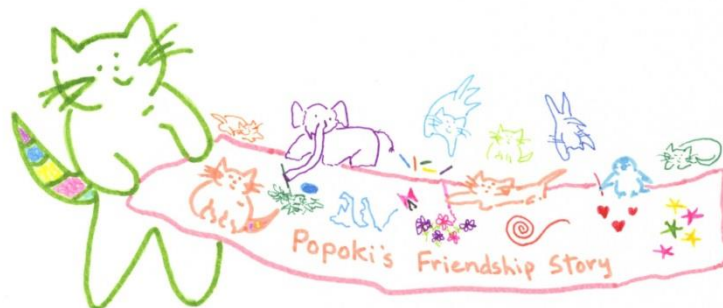
お父さん、家族連れが多かった。
今までになかった風景.....。



端からゆっくり見ている方に声をかける。「どうぞ、描いてゆきませんか？」すると「色々な方が描かれているのをやっと見られるようになりました。でも、私のことは未だ描けません。でも、何時か描けるようになるかも知れないので、また来て下さい。」

あるおばあちゃん「自分が住んでいたところに、津波が来たという話しがなかったの、安心していたら命からがら逃げることになった。家族も助かったが何もなくなった。でも年寄りもまだ良い。若い人は大変。仮設にいと暗くなるので、何も用事はないが、ここに出かけてくる。(展示を見て)こんな明るいスペースがあるのは、嬉しい。皆さんの支援がありがたい。震災当時はパニックで何も出来なかった。泣くことも出来なかった。そしたら、次に泣いて泣いて、今は涙も出ない。」次に泣く時は、うれし泣きが良いですねと言うと泣かれた。

大槌町に「仮設壁」を置いていきました。
大きなパネルと布。いつでも描けるよ！



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 70

今月のテーマは咲いている木や花を見上げること！



1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. では、四つん這いになりましょう。満開のさくらを見上げるかのように、しっぽ、首、頭を上、そして後ろへストレッチ！
3. 次は、頭を手の間に入れて、おなかをみましょう。でも、ときどき足の間から花を見てね。
4. 次は、大きな木をハグするかのように、立ちながら手も足もしっぽを大きく広げてストレッチ！
5. できましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。



一緒にいかが？

次回のポー会 4月17日(木) 神戸YMCA 19:00～

3.20-24 ポーポキ in 辺野古&高江！ ポーポキは辺野古と高江で基地反対の仲間の応援に行ってきます。みなさんも応援してください！

3.26-29 ポーポキ in トロント！ ろにゃんは学会でポーポキの方法論について発表します。

4.7 ポーポキ at 新入生歓迎イベント、神戸大学学生ボランティア支援室

4.26(予定) ポーポキ at 畿央大学

ポーポキの友だちからのご案内

神戸で上映会 『標的野村』(劇場版)。3.15 14:00, 19:00 新ながら労働市民センター。3.16 14:00, 18:00 神戸学生青年センター 主催:『標的野村』を上映する会 連絡先:078-360-4674

参加費 1000円 学生 500円

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8 面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22 面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4 面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1 面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29 面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22 面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing”(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapecacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに…」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って…考える絵本」 朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と~」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」 第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組 CH の 6CH をクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。 詳しくは: blrhgy@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10 面





私にとってのポーポキ

2014 年 3 月 タイキパパ



私が初めてポーポキに出会ったのは、2012 年の灘チャレンジのミニステージで家族と一緒に観覧していました。(ポーポキ通信 No.82「ポーポキの新しい友達、タイキくん！」とNo.94の「私にとってのポーポキ」を参照)

あの出会いから、できる限りポー会やワークショップ等を家族で参加して、もう少しで2年になろうとしています。

ポーポキに出会ってから私の世界観が変わりました。

ポーポキの友達には、いろんな国の方たちがいます。

私の人生で日本以外の人と接することがほとんどありませんでした。(私が高校生の時にアイルランドから2年間来日された英語の先生以来。)

だから世界に対して興味があまりなく貧しい国や戦争で苦しんでいる国のニュースを見ても第三者の立場でしか見ていなかった自分がいました。

それがポーポキでいろんな国の留学生や、いろんな国に留学してきた友達の話の聞いたりしているうちに他人事ではないと感じてきました。

ポーポキと知り合って初めて問いかけられた言葉「平和って何色？」やポーポキ友情物語の布に描かれた絵でも、色々な国の人たちや様々な経験をした地域の人たちによって表現方法がすごく違うことに驚きました。

ポーポキと出会ってすべてが新鮮で、今までに受けたことのない経験になっています。これからもポーポキと一緒に日々家族と共に勉強していきたいと思います。



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これから平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動をする予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動をする予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!